

障害福祉ナビゲーター

対象：静岡英和学院大学



今年度も県から委託を受け、障害福祉ナビゲーターが活躍しています！

今回(4/28)は、ナビゲーターの2名にお越しいただき、チームワークとコミュニケーションの難しさについて、静岡英和学院大学の皆さんに講話していただきました♪
エピソードを交えてお話しくださったため、福祉の現場で大切なことのイメージがつきやすかったように感じます。施設で働く上での課題点や気を付けていることなど、グループワークを行いながら進めていくことで、学生間のコミュニケーションや講義内容について、より理解が深まったことと思います。
一緒に働く仲間を尊重し合い、支え合いながら働いていることをお話くださいました。

活動の様子



知的障害者施設で働くYさん

「子どもたちにとっての
家族のような存在」

施設で生活を送る子どもたちとコミュニケーションをとる方法は職員によって違いはあるが、支援を行っていく上での目的や方向性は統一しながら職員同士尊重し合える関係性が大切。

>>> 身体障害者施設で働くSさん

「当たり前を疑うこと、
メンバーにリスペクトを持つこと」

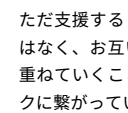
利用者さん一人ひとりに合ったサービスを提供するためには、年齢や立場、職種などを気にせず議論や相談、話し合いができる環境が必要になってくる。



学生さんからの声



福祉の現場では、情報共有が大切だと言われてきたけど、分からない部分もあったので、実際に働く方々にお話をきけたことで大切さをより理解できた。



ただ支援する・寄り添うといった形ではなく、お互いの意見のなかで議論を重ねていくことでより良いチームワークに繋がっていることを学べた。



現場での時間やタスクが決まっているなかで、利用者さんの利益のためにチームとして何ができるのか、情報共有だけではなく職員自身の学びや改善点を得るためのコミュニケーションがチームワークに影響すると分かった。

次回

6/4

静岡福祉大学

<その他>

- ・5/17 自分軸発見フェス
- ・5/23 あおばフェス

障害福祉分野の魅力ややりがいをお届け。

SNSでも活動を
発信しています！



@shizuokakensyakyou

@shuzarashikaito

静岡県社会福祉人材センター
jinzai@shizuoka-wel.jp
054-271-2110
担当：曾根・加藤